

ともに育ち、ともに学ぶ！交流及び共同学習

みどり学園では、自分が住んでいる地域で人間関係を広げ、心豊かに暮らしてほしいという思いをもって「学校間における交流」「居住地校における交流」「地域との交流」そして交流を支えるための「障害理解授業」を行っています。今年度行った活動の一部を紹介します。



小学部居住地校交流

今年度は、児童8名が居住地校交流を実施しました（実施予定も含める）。始めは緊張していた児童も多かったですが、友達に温かく迎えられ、音楽や学級活動などの学習を通して交流することができました。友達からは「〇〇さん」「久しぶり」「こっちだよ」「また遊ぼうね」などの声が多く聞かれました。保育園や幼稚園からの友達であったり、兄弟の友達であったり、毎年交流してきたことでできた友達であったり…居住地校であるからこそその温かさが広がりました。このように交流を深めていくことで、自分の住んでいる地域で人間関係を広げたり、社会性を身に付けたりするなど、これからの生活をより豊かにするきっかけとなることを期待しています。また居住地校の友達にとっても、共に生きる仲間を知り、一緒に学習する機会を得ることはとても大切なことだと考えています。地域で会ったときには、「あっ、あのときの！」「元気だった？」「何か困ってる？」などとお互いが気軽に声を掛け合える存在になれるといいですね。交流の様子を写真で少しご紹介します。



【居住地校 7校】

秋田市：飯島南小学校	金足西小学校	土崎小学校
男鹿市：船越小学校	湯上市：追分小学校	
五城目町：五城目小学校	三種町：琴丘小学校	

中学部居住地校交流

【居住地校 8校】

潟上市：天王中学校、天王南中学校、羽城中学校
男鹿市：男鹿東中学校、潟西中学校
秋田市：将軍野中学校
五城目町：五城目第一中学校
井川町：井川義務教育学校



音楽

合唱「手紙～拝啓十五の君へ～」



美術

ペーパークイリングに挑戦



家庭

きゅうりを切ってみよう



特別活動

レクリエーションをしよう

中学部の居住地校交流は、9名の生徒が居住地の中学校8校で実施、または実施予定です。参加した生徒は「緊張したけれど、久しぶりに友達に会えてうれしかった」「みんなが優しくて楽しかった」と笑顔で感想を話していました。「来年は一緒に体育をやりたい！」と次の交流を楽しみにしている生徒もいます。活動を継続することで、お互いにとって充実した交流になることを願っています。

居住地校の生徒の声

- とても一生懸命に歌っていて、僕たちもしっかり歌うきっかけをつくってくれて、ありがとうございました。
- とても楽しかった。A君に進んであいさつなどをし、交流を深めた。
- 同じ小学校だったから、久しぶりに会えてよかったなと思った。
- 最初は緊張していたようだったけど、最後の方では楽しく笑顔で活動していた。次の交流では、もっとみんなと話せるような環境にしたい。
- 身長も伸びて、制服が似合っていました。元気そうな明るい笑顔が見られてよかったです。
- Bさんがとても楽しそうで、こっちまで楽しく交流することができました。
- もっと話したかったので、席が一緒だったらよかったです。

居住地校の先生の声

- 生徒たちは小学校時に交流していたので、抵抗なく一緒に授業を行っていた。小学校からの積み重ねがあるため、中学生になっても抵抗なく実施できるのはとてもよいことだと感じた。
- せっかく交流するので、お互いの近況とかを知る機会として設定するならば、写真を何枚か使って紹介したり、質問したりすることもできるのではないかと思います。

障害理解授業

各学校からの依頼に応じた障害理解授業に加え、居住地校交流の事前学習として理解授業を実施しました。

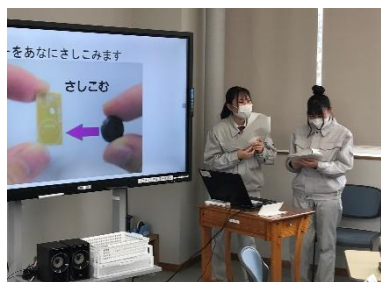
交流する児童の担任が同行し、児童の紹介や関わる際のポイントについて話しました。障害の有無に関わらず、どうすればみんなが仲良く気持ちよく過ごせるかを考えるきっかけになってくれればと考えています。



高等部 学校間交流

～高等部2年生と男鹿工業高校設備システム科3年生との交流～

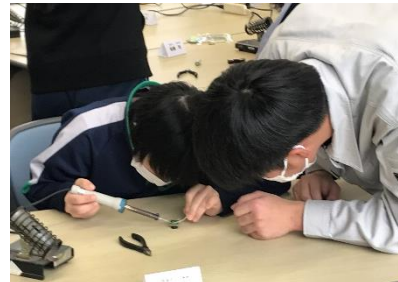
毎年恒例の本校高2生と男鹿工業高校との交流は、今年度は設備システム科の3年生との電子オルゴールづくりでした。11月2日に男鹿工高生対象に本校の児童生徒の理解のための学習が行われ、交流自体は12月14日となりました。男鹿工高生は、どう接していいか不安もあったようですが、学習後は具体的にこういう関わり方をしたい、というイメージをしっかりともつことができていました。双方緊張気味でスタートした交流当日は、班ごとの自己紹介から次第になごやかになり、本校高2生から、いろいろな質問をするなど、自主的なかわり場面が見られました。本校高2生の大多数にとって電子オルゴールづくりは初めての経験で、特に半田ごてを使用して精密部品を接続する作業はとても刺激的でしたが、一年先輩でもある男鹿工高生が優しくていねいに教えてくれたおかげで、全員がきれいなメロディーを奏でるオルゴールを無事完成させることができました。男鹿工高生はそれぞれ進路も決まり、旅立ちますが、またどこかで会えることを期待しながら別れの言葉を交わしました。



女性二人のかけあいによる解説はテンポよく。



「ここに部品をはめ込むんだよ。」



「半田ごては熱いので気をつけて。」息をのむ瞬間。



今日のふれあいがこれからの生活を輝かせてくれるね！



秋田県立支援学校天王みどり学園

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

教頭:高橋 省子 教育専門監:新目 敏子 地域支援部:遠藤 美和子

特別支援教育地域センター(男鹿市立船川第一小学校内):月・水・金

TEL:0185-24-3231

特別支援教育アドバイザー〔船木 祐子〕

